

ITエンジニアリング、PRIMAVERAで業種別テンプレートを開発 10月より販売、導入期間の迅速化を実現

ITエンジニアリングがoracle PRIMAVERAの業種別テンプレートを開発、このほど本格的に営業活動を開始した。これまでそれぞれの顧客ニーズに応じて対応してきたが、テンプレートができたことで、ユーザーニーズとテンプレートのギャップを埋める形でソリューションが提供できる。これにより、導入期間が短縮されると同時にコスト低減も可能になる。エンジニア・建設、プラントオーナーに加え、IT企業向けの3種類のテンプレートがラインナップされた。ITエンジニアリングではテンプレートの発売により、他の販売代理店との差別化を図る。

導入期間の短縮を実現

世界で最も普及しているプロジェクトマネジメントシステム(PMS)「PRIMAVERA」の国内代理店の一つ、ITエンジニアリングは10月に、PRIMAVERAの業種別テンプレートを発売した。

このほど発売されたテンプレートは、「エンジニアリング業・重工業・建設業向け」「石油・化学・電力事業向け」「受託開発・ソフトウェア業向け」の3種類。

プロジェクトマネジメントは元々、プラント建設やビル建設、土木工事などのプロジェクトを効

率よく実施するための手法だったが、最近ではこの手法をIT業界のソフト開発など、幅広い分野で活用されるようになってきた。これに伴いPMSのPRIMAVERAを活用する際にも、業種毎に使用される機能が異なっていた。このため、業種毎のテンプレートを開発し、各テンプレートとそれぞれのユーザーニーズとのギャップを埋めることで、ユーザーの要望を反映するとともに迅速な導入を実現するのが狙いだ。

また昨年、米PRIMAVERA社はオラクルに買収されたが、買収に伴いパートナー戦略も変わってきた。以前は日本国内ではIT

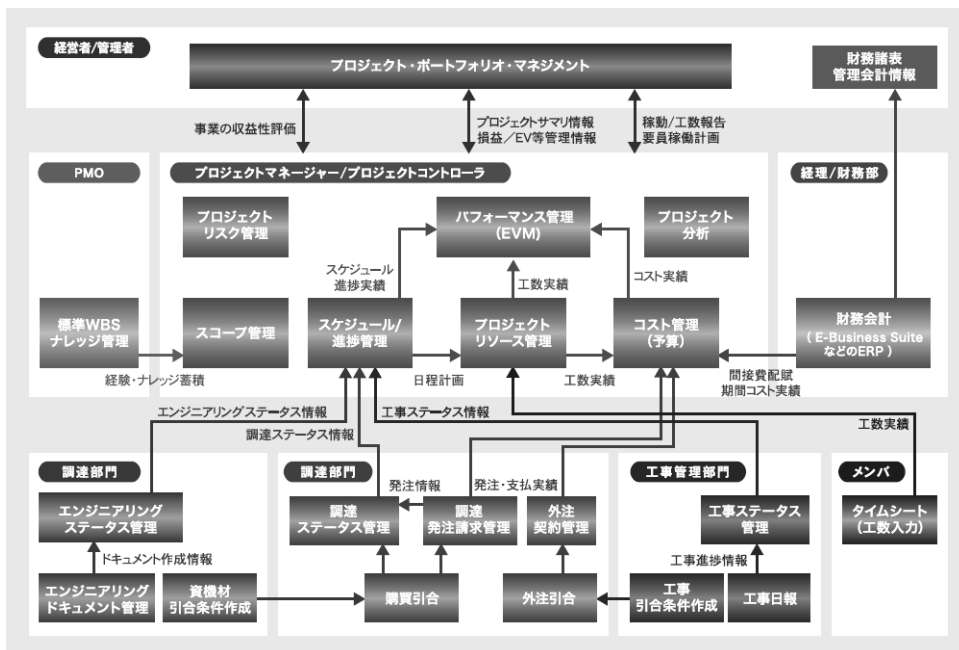
エンジニアリングが独占販売代理店だったが、買収後には、パートナーを増やす戦略に変更された。すでに東洋ビジネスエンジニアリングが販売代理店になったが、今後も増加することが予想される。こうした中で、ITエンジニアリングも差別化戦略を強化する目的で、業種別テンプレートにより導入の迅速化とコスト低減を実現する。

こうした戦略により、新規パートナーとの差別化を図るのも、テンプレート作成の大きな目的だ。

業種別に特定機能を強化

「エンジニアリング業・重工業・建設業向け」テンプレート「ite-PRIMAVERA-ENG」では、この業種で頻りに活用されるスケジューラの機能が重視されている。

ITエンジニアリングはこれまでに150社以上にPRIMAVERAを導入してきたが、そこで築かれた導入ノウハウとグローバルエンジニアリングプロジェクトの知見をエンジニアリング・重工業・建設業向けにシステム化した。PRIMAVERAの強みを最大限に活かしつつ、エンジニアリング業務において、プロジェクトマネジメントとエンジニアリング業務を一体化するための機能を拡充した。またEPS(エンタープライズ・プロジェクト・



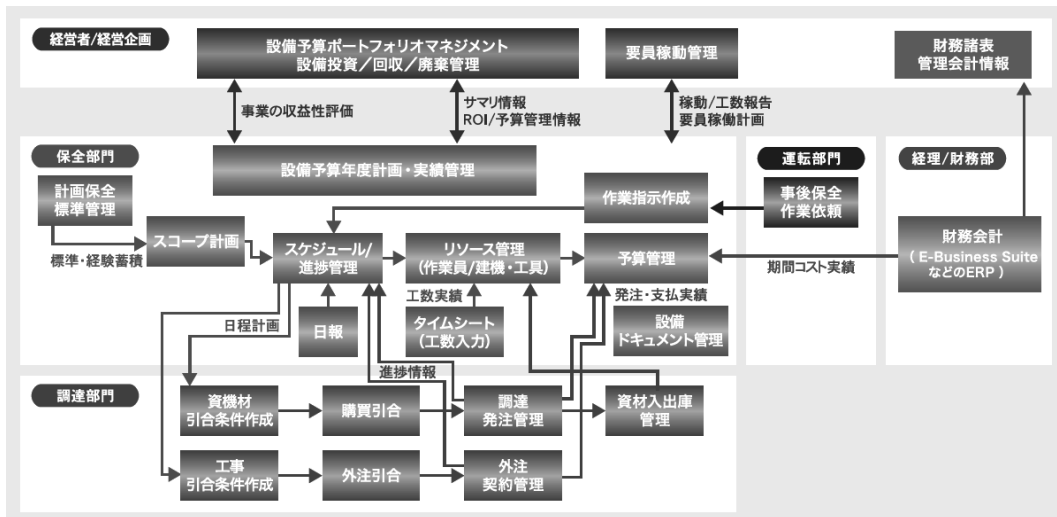
「ite-PRIMAVERA EN」のコンセプト

ストラクチャ)／WBS (ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャ)体系を核とした事業構造の統合手法により、エンジニアリング事業における迅速な意思決定を実現するシステムの構築を実現する。具体的には、①企業内すべての経営資源・情報の体系化と一元管理、②企業内すべての事業、プロジェクトに対する責任と権限の明確化、③プロジェクトおよびエンジニアリングマネジメントプロセスの統合化、を実現している。

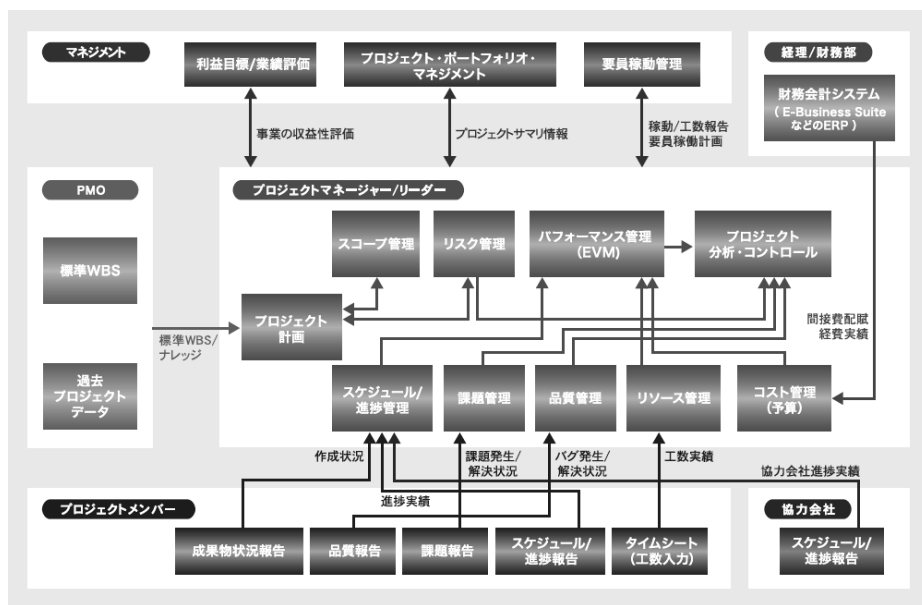
主要機能は、プロジェクトポートフォリオマネジメント、プロジェクト分析、スケジュール／進捗管理、プロジェクトドキュメント管理、契約管理／変更管理など。

「石油・化学・電力事業向け」テンプレート「ite-PRIMAVERA-OM」は、石油・石油化学・電力などのプラントオーナーが行う操業と保全(オペレーション&メンテナンス)の効率的な実施をサポートする。製品名の「OM」は、オペレーション・アンド・メンテナンスの意味だ。石油・化学・電力企業におけるプロジェクトマネジメントとメンテナンス業務システムを一体化するための機能が強化されている。このテンプレートは、経営者から保全部門、運転部門、調達部門、管理部門のマネジメントプロセス、プロジェクト／作業指示情報を統合し、迅速な意思決定を可能にする。具体的には、①企業・事業所(プラント)規模で多様な保全業務の経営資源を統合管理、②企業内すべての経営資源・情報の体系化と一元管理およびプロジェクトに対する責任と権限の明確化、③EAMシステムとの連携による高度なリソース稼働管理、予算管理を企業レベルで実現できる、など。

主要機能は、定修工事について



「ite-PRIMAVERA-OM」のコンセプト



「ite-PRIMAVERA-IT」のコンセプト

は、標準データの蓄積と再利用、計画・スケジュール最適化、予算実績対比、予想・分析、実績報告／進捗管理。日常点検では、要員稼働管理、ドキュメント管理、契約管理／変更管理、タイムシート、業務フロー管理など。

また「受託開発・ソフトウェア業向け」テンプレート「ite-PRIMAVERA-IT」では、プロジェクトに関わる資源・情報が体系化／一元管理されるため、プロジェクト単位から部署別まで、全社のプロジェクト状況を瞬時に把握し、問題点の早期発見およびリスクマネジメントが可能になる。また運用実績から抽出／検証

されたソリューションをベースにしたテンプレート構成により導入期間の短縮が実現される。

主要機能は、プロジェクトポートフォリオマネジメント、要員稼働管理、スケジュール／進捗管理、タイムシート、業務フロー管理など。またオラクルやSAPのERPシステムとの連携も可能だ。

ITエンジニアリングでは、これら3種類の業種別テンプレートを売り込む計画だが、今後は、他の運転支援システムなどとの連携を強化し、高付加価値化を図り、これにより差別化を図る。